## 2025年度 事業計画 社会福祉法人 和生福会

#### 1.2025年度 事業計画の概要

- 経営
  - 稼働率の維持、改善
    - 入所系サービスは98%、通所系は90.5%を必達目標とする
    - 居宅系サービスは、ケアマネジャー4人で要介護月100件以上の契約、要支援の方の契約も積極的に受け入れ40件以上をそれぞれ目標とする
    - 相談員業務について改善を継続する
    - 地域連携の強化とスムーズな入退所の仕組みを構築する
    - 稼働率に焦点を当てるだけでなく、中長期的に稼働率を下支えしていくシステムを構築する
  - 経営分析と戦略策定
    - 運営方針を策定し、ベストプラクティスを模索する
    - 短期的な戦略は稼働率に関する事項(相談員・居宅の業務改善)
    - 中長期的な戦略は階層レベル別に設定
      - **ミクロ** 利用者満足度と職員の組織コミットメントに関する事項
      - **メゾ** コンプラ等リスクマネジメントと人材設備投資に関する事項
      - マクロ 政治経済動向把握と広報に関する事項
  - 法人、グループ内での連携強化
    - 相互に連携、協力体制をもち、その利点を最大限に生かす
    - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
  - 地域貢献活動の充実
    - 地域清掃活動への参加(年2回)
    - 地域住民参加型「いきいき体操」の開催(毎週木曜日午前)

#### ● サービスの質

- 令和6年度末に導入されたICT機器(パラマウント社製眠りスキャン)を活用する ことで生産性を高めると同時に、利用者サービスの向上に努める
- 災害等非常事態等でも安定したサービスを提供するためのBCPを策定更新する

- 人材育成、職場環境の整備
  - 職員満足度調査による問題顕在化と、それに基づく施策の実施
  - 就業継続困難な職員に対する個別支援による職員多様化の促進
  - 特定技能制度の積極的利用(8月に2名採用予定)
  - 面接等を通じ組織コミットメントを高める取り組みを実施
  - 建物老朽化に伴うメンテナンス及び改修工事(外壁を優先とする)
  - 非常用発電機の導入検討

(入所) 【100名】

(ショート) 【20名】

### 2. 運営目標(稼働率、利用者数)

#### 高齢者事業

● 特養 (稼働率)

事業所名

緑風苑

2024年度\*2025年度 目標98.5%100.0% (+1.5%)80.3%88.0% (+7.7%)

\*2024年度:2025年3月の見込値を含む

• 通所介護 (稼働率)

\*2024年度:2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
平成デイサービスセンター海南【22名】	88.1%	90.5% (+2.4%)

● 居宅(ケアプラン数)

\*2024年度:2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
緑風苑居宅介護事業所(要介護)	810件	1,110件(+300件)
(要支援)	390件	460件(+70件)

# 2025年度 事業計画 社会福祉法人 和生福会

### 対象事業所

#### 高齢者事業

緑風苑(特養) 【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護) 【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所 (居宅)

## 高齢者事業

#### 緑風苑(特養) 【定員:入所-100名 ショート-20名】

● 主な指標 \*2024年度:2025年3月の見込値を含む

○ 入所

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	98.5%	100.0% (+1.5%)
平均要介護度	3.7	3.7 (±0)
単価(人・日)	14,659円	14,705円(+46円)

#### o ショート

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	80.3%	88.0% (+7.7%)
平均要介護度	2.8	2.8 (±0)
単価(人・日)	14,223円	14,431円(+208円)

- 実現するための取り組み
  - 稼働率
    - 運営方針を策定し、ベストプラクティスを模索する
    - 特養100%、ショート88%を稼働率目標とする
    - 相談員業務を改善することにより調整能力を向上させる
    - 病院の地域連携室との連携を密にし、退院調整をスムーズに行う
- じぶんを生きるをみんなのものに:QOLの向上
  - じぶんらしく生きる為の支援
    - 入居者が生きてきた「自分史」を職員が知る
    - 「24時間シート」を作成し、個別支援に活用する
      - 入浴・食事及び排泄支援の時間や回数等
      - 買い物等、外出機会の確保
      - 「眠りスキャン」による睡眠状態の把握
    - 利用者の身体状態に合わせた福祉用具の選定・購入

- 看取り指針の適宜見直し
- 専門職の専門性の向上
  - 介護職のユニットリーダー研修受講。他職種もユニットケア研修受講。
  - 認定特定行為業務研修受講(喀痰吸引等資格)
  - LIFE積極的活用によるサービス改善

#### 平成デイサービスセンター海南(通所介護) 【定員:22名】

• 主な指標

\*2024年度:2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	88.1%	90.5% (+2.4%)
平均要介護度	1.8	1.8 (±0)
単価(人・日)	8,870円	8,877円(+7円)

- 実現するための取り組み
  - 稼働率
    - 利用者のキャンセルを想定した曜日ごとの登録人数の確保継続
    - 毎月体験利用者を獲得することで新規利用に繋げる
  - 生活の質(QOL)の向上
    - 楽しみの中に「脳機能の活性化」「身体機能の維持・回復」等の目的を もったレクリエーションの充実。
    - 専門職によるリハビリ体制の充実
  - その他の取組み
    - 感染症対策の継続

#### 緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

• 主な指標

\*2024年度:2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
ケアプラン数(要介護) (要支援)	810件 390件	1,110件(+300件) 460件(+70件)
平均要介護度	2.2	2.2 (±0)
単価(人・月)	11,855円	12,828円(+973円)

- 実現するための取り組み
  - ケアマネ増員
    - 2024年度ケアマネ合格者を本人希望により居宅ケアマネに登用する(2025 年6月より)
  - 担当件数
    - ケアマネ4名(うち主任ケアマネ2名)で、担当件数100件/月、介護予防40 件/月以上を目標とし、安定した運営が図れるようにする。
  - 加算について
    - 特定事業所加算Ⅱ算定
  - 研修
    - 介護支援専門員として質の向上が図れるよう、積極的に研修に参加する
  - 関係機関との連携
    - 地域のケアマネ会に毎回参加し情報を得る
    - 地域包括支援センターや医療機関との連携を強化する
    - 困難ケースの受入を図る